



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《 学校教育目標 》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和4年度学校通信

第6号

令和5年1月13日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

学校評価アンケート（保護者）

1月6日（金）唐琴の瀬戸を渡った前島で、新旧フェリーの引継式がありました。真新しい船体には、昨夏、全校生徒から募集したシンボルマーク（波、オリーブ）と船名「からこと丸」があしらわれ、生涯の思い出となる社会貢献ができました。

さて、保護者の皆様には、年末に学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果は学校評議員会で公表し、本校の教育について評価していただきましたので、一部掲載します。

学校関係者評価は全教職員にフィードバックし、教育活動の一層の充実に努めて参ります。ちなみに同アンケートを生徒に実施したところ、うれしいことに「牛窓中は、通いたいと思える学校である」に「当てはまる」が59%、「どちらかといえば当てはまる」が35%もありました。以下、学校評議員の皆様の評価の抜粋です。

「タブレットがあったり、プロジェクター、モニターを利用して、わかりやすい個人に合った授業に感嘆した。」「生徒の状況（習熟度）に合わせた指導によって、学習効果が得られている。」「PST (Planning and Studying Time) で立てた目標を家に帰って実行できているかという、そうでもないのが実態ではないか。」「中学生で明確な夢を持つことはまだまだ難しいが、講演会の開催や地元で頑張っておられる方の話を直接聞くなどの取組を通して、視野を広げて欲しい。夢を叶えるには、基本的な生活リズムの大切さがわかってくると思う。」「地域との連携を多角的に考え、業務軽減であっても、子どもたちの学力、体力を支えていけるよう工夫していきたい。」「防災なども、判断力や情報収集力など、人間力強化につながるため、こうした取組も今後は進めて頂きたい。」「学校行事であるとか、生徒会活動を充実すべく努力されているが、コロナ禍のため、保護者は参観ができなかったもので、評価が低かったと思う。」

A: 当てはまる B: どちらかといえば当てはまる C: どちらかといえば当てはまらない D: 当てはまらない

学校の指示や説明はわかりやすい (特別支援教育)	15	75	8	2
学校は、基礎・基本を丁寧に教えてくれる	29	65	6	
学校は、子どもの努力を適切に評価している	40	54	6	
授業でICT機器を使っている (GIGAスクール構想)	33	58	4	4
子どもは、家庭で平日1時間以上学習している (塾を含む)	40	25	21	15
子どもは、将来の夢や目標を持っている	27	44	15	15
学校は、子どものよいところを認めてくれる (多様性)	40	52	8	
学校は、子どもの不安や悩みの解消に努めている	10	65	21	4
学校は、適切な言葉遣いやあいさつの励行を指導している	23	71	6	
学校は、規範意識を育てる指導を行っている	23	69	6	
学校は、いじめ防止など、人権について指導している	23	63	13	2
子どもは、地域の行事やボランティア活動に参加している	19	42	35	4
子どもは、失敗や嫌なことがあっても、気持ちを切り替えられる	17	58	19	6
子どもは、早寝、早起き、朝ご飯を心がけている	31	35	27	6
学校は、安全(防災、交通、感染症、熱中症など)について指導している	33	68	4	
ネットやSNSの使い方を家庭で決めている	31	54	13	2
委員会活動や部活動が活発な学校である	15	56	17	13
体育会や咲陽祭などの学校行事が充実している	8	56	29	6
牛窓中学校は、子どもを通わせたいと思える学校である	31	54	10	4

0% 50% 100%

学習アンケート（生徒）

学習アンケートでは、生徒が(1)授業と(2)自己の学習状況を評価しました。(1)授業は、岡山型学習指導のスタンダードに則り、行うことができていました。ちなみに岡山型学習指導のスタンダードとは、岡山県教育委員会が教員向けに授業づくりの方法をまとめたものです。(2)生徒の学習状況では、学習指導要領で「主体的に学習に取り組む態度」の2側面とされている(2-1)「粘り強さ」と(2-2)「自己調整」に注目しました。これらに「当てはまる」と答えた生徒の割合は、3学年とも県平均より高く、特に3年生は特筆に値する結果でした。これらは予測困難な時代を生き抜く原動力となるものですので、今後とも学校の教育活動全体を通じて育てていきたいと考えています。

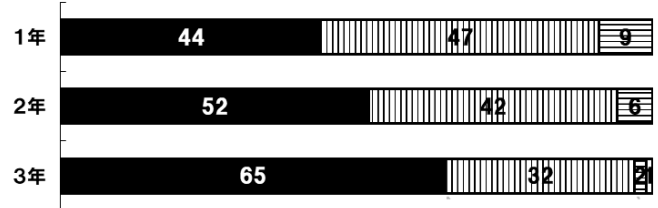
【粘り強さ】 授業でわからない問題があっても、生徒や友達に質問するなど、最後まであきらめずに解決しようと努力することができる (%)

■当てはまる □どちらかといえば当てはまる
□どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない



【自己調整】 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる (%)

■当てはまる □どちらかといえば当てはまる
□どちらかといえば当てはまらない □当てはまらない



3年生「音楽鑑賞会」

12月9日(金)、3年生の音楽の授業に「せとうちカルテット」をお招きし、鑑賞会を開催しました。カルテット(弦楽四重奏)は1st・2nd ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの弦楽器からなり、それぞれ高い音域から低い音域を担当することで支え合っています。3年生は、間近で弦楽四重奏の生演奏を堪能し、その柔らかい音色に酔いしれました。



演奏の合間には軽妙なトークによる説明を交え、奏法を弓から指ではじくピチカートに変えたり、童謡「森のくまさん」をクラシック、ワルツ、タンゴ、ロックの変奏曲で次々と演奏したりするなど、同じ曲でも異なる曲に感じさせる面白さを楽しみました。演奏後には3年生と奏者の間で質疑応答が続き、予定時間をオーバーする盛況ぶりでした。その中で「演奏中は自分に集中しすぎず、俯瞰すること」「上手に弾くだけでなく、曲に対する尊敬や聴衆に対する感謝の気持ちを持つことで、少々ミスをしていても思いを届けることができること」など、演奏中の気持ちも率直に語っていただきました。この度の鑑賞会は、受験生にとって一服の清涼剤となっただけでなく、文化・芸術に触れる貴重な機会、多面的・多角的な見方・考え方を高める機会ともなりました。教職員にとっても、本物が持つ生徒を引きつける力、それを取り入れた学習の大切さを学ぶ機会となりました。

その他、12月21日(水)には、美術同好会が瀬戸内市立美術館で「神々の視座」を見学しました。近年はコロナの影響で文化・芸術に触れる機会が失われがちですが、本校では今後とも地域の教育資源を活用し、文化・芸術に触れる機会を確保して参りたいと考えています。

新職員紹介

牛窓学校給食調理場に学校栄養職員として勤務していた谷口志保先生が冬休み中に退職し、後任として植月佳織先生が着任しました。前任者同様、何卒ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1月の論語

君子は博く文を学び、これを約するに礼を以てせば、また以て畔かざるべきか。

広く学問して知識・教養を身に付け、それらを社会の道徳的まわりに照らして実行していけば、人の道からはずれることはあるまい。(クマ先生とよむ論語)